

＜保育のねらい＞

- ◎自分なりに目的をもったり、友達との遊び方を考えたりしながら遊ぶ。
- ◎来園する小さい子やその保護者の方との関わりを喜びながら遊ぶ。

＜「遊び込む」ために保育者自身がどのような視点をもち保育にあたっていたか＞

- ◎この遊びの中で自分のやりたいことやこうしたいという思いをもち、共に遊びを進める友達に伝えながら実現できるように

あつきた「遊び込む」ために育みたい資質や能力

1	もっともっとと関わる 意欲
2	自分の思いを 表す 力
3	イ メージを膨らませる力
4	遊びの もの や場を自分で 作 る力 (工夫)
5	人 と関わる力

＜この時の保育展開＞

幼児の姿と**思いの変遷**



朝、担任が「社長」としてペットショップを始め、材料を並べて作っていると、何してるの?
作りたい!と関わってくる。

自分の作った動物への思い入れも出てきて、G子が
「自分の作ったものを自分で売りたい」という思いをもち始める。「自分で作ったものはその人が売ってことにしない?」と提案し、H子・I子が同意。

I子のペットが選ばれ、G子が声を掛け、ポロップのお客さんに売る様子を見守る。I子、肩をすくめて「I子のだ」と張り切って売り場カウンターへ行き、売り子になる。

どんどんお客さんが来て、「〇ちゃんのだよ!」と、声を掛け合って売る。G～J子、それぞれ自分で売る。

育ちの**見取り**と**読み取り**

これまでの経験で、**遊びの**もの**や場を自分で**作**る力**が育っており、どんどん作っていきたいのだな。作る楽しさも手伝って心が動き始めている。

自分の思いをもち、それを表す力が育っており、「こうしたい!」という思いだけでなく、ペットショップ屋さんをどのように進めていくのか、周り調整を図りながら遊びを進めている。年長さんらしい、**人と関わる力**が育くまれている。

I子は自分のが選ばれたことや自分で売れること嬉しいのだろう。売り終わってからは、**自分で売ったという満足感を得られたのでは。**
G子は「思ったように」遊びが進められていることに手応えを感じていたのではないかな。

どんどんお客さんが来て忙しい雰囲気も遊びの楽しさにつながっている。
もっと売りたいという思いをもったと思われた。

この事例の際にしていた教師の具体的な一手は？

この日は作る工夫を経験させたいわけではないので、量産できるように動物の顔、手足、しっぽなどのパーツは用意しておいた。

作った動物への愛着が沸き、「売りたい」という思いをもつ子どもいたので、まずはこの遊びのどこかに思いをもち、機会があれば、売る嬉しさなどにも触れさせようと思った。

「自分の作ったものを自分で売りたい」という思いを実現できているのか着目していた。

売り買いのやりとりの楽しさを感じているうちに、H子ら他児もやりとりを楽しめるよう、「犬の骨」を売るというアイデアを教師で出した。

研究日の話し合い

視点①どのような遊び込む姿が見られていたか

- 思い入れをもって、園のいろいろな職員にも「ペットショップに来よう」誘っていた。
- 「あと一個しかないよ！」などと、全部売ることを目指していた。
- 「お楽しみカード」を配り、一枚につき3人まで来られるという方法を考え、お客さん呼び込んでいた。

視点②「遊び込む」姿を引き出すための教師の具体的な一手は何か

- ◆ 先行経験や子どもの興味、「ポロップひろば」を生かした経験を見極めて「ペットショップの動物作り」という内容を取り上げたのが良かったのではないか
- ◆ 環境の作り方として「作る場所」「売る場所」が分かれていたというのが、一人一人のやりたいことを保障でき良かったのではないか。
- ◆ 幼児一人一人に大切な経験を積み重ねるためには、遊びの目的が「簡単に作れるもの」「それぞれのペースで取り組めること」「やりたいことができること」など、程よい状況を作っていくことが大切である。